社会資本総合整備計画事後評価シート

1.計画の名称	宇美町における快適な生活環境の推進
2.実施主体名称	福岡県　宇美町
3.計画の期間	平成 22 年度から平成 24 年度（3 年間）
4.計画の目標	下水道の整備による快適な生活環境を実現する。
5.計画の成果目標 （定量的指標）	公共下水道人口普及率（処理区域内人口/行政人口） 平成 24 年度末　86.1%

6.社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況

①宇美町公共下水道枝線整備（平成 22~24 年度実施）

施工年度	名称	概要
H22	山ノ下地区(1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=469.1m　Φ150 ㎜　L=38.9m 汚水桝 66 箇所　人孔 24 箇所
H22	山ノ下地区(2)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=151.1m 汚水桝 1 箇所　人孔 5 箇所
H22	三原地区(5)実施設計	開削工法　L=257m　A=0.91ha
H23	三原地区（5-1）下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=169.3m　Φ150 ㎜　L=13.1m 汚水桝 9 箇所　人孔 5 箇所
H23	町道柚ノ木～塔ノ尾線(1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=470.9m　Φ150 ㎜　L=36.3m 汚水桝 14 箇所　人孔 21 箇所
H23	障子岳四丁目(1) 実施設計	開削工法　L=929m　A=3.41ha
H23	貴船三丁目(1) 実施設計	開削工法　L=633m　A=4.06ha
H24	町道柚ノ木～塔ノ尾線(2)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=23.4m 汚水桝 5 箇所　人孔 2 箇所
H24	障子岳四丁目(1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=396.2m　Φ150 ㎜　L=31.3m 汚水桝 29 箇所　人孔 18 箇所
H24	貴船三丁目(1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=243.6m 汚水桝 5 箇所　人孔 10 箇所
繰越 H25 （見込）	貴船三丁目(1-2)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=287.4m　Φ150 ㎜　L=31.3m Φ75 ㎜　L=126.35m 汚水桝 23 箇所　人孔 14 箇所

②宇美町公共下水道汚水幹線整備（平成 24 年度実施）

施工年度	名称	概要
H24	井野第 2 汚水幹線(1) 築造工事	Φ200 ㎜　L=8.5m　Φ100 ㎜　L=194.1m 人孔 1 箇所

③宇美町公共下下水道長寿命化計画策定（平成 24 年度実施）

施工年度	名称	概要
H24	宇美町公共下水道長寿命化計画 策定に伴う調査検討業務委託	四王寺坂団地マンホール鉄蓋 474 箇所

7.事業効果の発現状況

計画期間の整備事業の実施により 2,043m の管渠整備を完了し、6ha の供用開始を行った。これにより平成 24 年度末の普及人口は、32,676 人となり行政人口に対する普及率は 86.2%に達した。

また、宇美町公共下水道長寿命化計画策定に向けて実施した調査検討業務により、老朽化が懸念された民間開発団地のマンホール蓋に関しては、宇美町が規定する性能基準を一部満たさないものの、費用の平準化のため年次計画による更新を実施することとした。ただし、緊急性の高いものについては更新を実施した。

8.評価指標の最終目標値の実現状況

評価指標は目標値 86.1%に対し、平成 24 年度末の普及率は 86.2%となった。

交付金額が、要望額を下回ることが多く整備事業を一部延伸することとなったため、目標値の見直しを行った。

9.今後の方針

町の財政状況、国の交付金の状況から整備事業は減少し、普及拡大は、遅延傾向にある。また、行政人口の減少がみられ、これまで以上に投資効果を見据えた整備地域の選択が必要である。また、整備事業の開始から平成 24 年度末で 26 年を経過し、既存施設の維持管理費用が見込まれる。国の動向としても既存施設の老朽化対策に重点が置かれていることからも、施設の長寿命化計画の策定等維持管理面の事業を計画的に実施する必要がある。